

Q

手首の骨折後、ギプスを外してから親指が突然伸びなくなりました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ
テーション病院

手外科専門医・足の外科認定医
整形外科専門医

谷口 泰徳 副院長

A

手首の骨折である橈骨遠位端骨折（とうこつえんいた

んこつせつ）のギプス固定による治療終了後、腱が切れ親指が伸ばせなくなることがあります。これは長母指伸筋腱（ちようほししんきんけん）と呼ばれる親指を伸ばす腱が、骨折部でこすれて摩擦で断裂し、伸ばす動きができなくなるためです。皮膚が傷つかず、皮膚の下の腱だけが切れるので長母指伸筋腱皮下断裂といえます。この親指の腱断裂は、高齢女性で転位の少ない骨折に多い傾向があります。腱が切れても痛みは感じないので、親指が不自由になつて気づき来院されます。

治療は手術が必要です。手術は局所麻酔で30〜40分で終了します。皮下断裂した腱の断端はバサバサになっているため、切れた腱同士を直接つなぐことはできません。そのため、専門的治療である腱移行術が必要になります。腱移行術とは、人差し指の腱を1本切断して、親指の腱に移してつなぎ替える手術です。人差し指の腱を1本犠牲にしますが、人差し指の腱は2本あるため人差し指が動かなくなることはありません。術後3週間ギプス固定を行います。2〜3ヶ月で親指は違和感なく伸びるようになります。手術治療の詳細は手外科専門医にお尋ねください。